

会 議 録

1 会議名

令和6年度第4回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的審議事項（公開）

（1）安塚区地域協議会視察研修について

（2）自主的審議事項について

○その他（公開）

3 開催日時

令和6年8月27日（火）午後6時30分から午後7時21分まで

4 開催場所

安塚区コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：秋山富大、池田康雄、和泉達郎、岩崎博夫、新保良一、滝沢祐介、中村真二、
山岸まり子、横尾広明、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 今井所長、山崎次長、小林市民生活・福祉グループ長
（併教育・文化グループ長）、内田班長、本山会計年度任用職員

8 発言の内容（要旨）

【吉野会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・池田正文委員、松野正隆委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録は、内規により私の方で対応する。

それでは、次第2自主的審議事項（1）安塚区地域協議会視察研修についてであるが、

視察の目的など、(2)の自主的審議事項にも関係してくることなので順番を入れ替えて議事を進めたいがいかがか。

(全員了承)

【吉野会長】

まずは前回の協議会で近隣施設の「浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ」及び「月影の郷」の経費について、事務局に依頼した件について、事務局から説明を求める。

【内田班長】

まず、「浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ」の経費について、直営施設で、具体的には業務委託となる。休止前最終3か年、平成24年から平成26年度までの収支で、3か年平均の収入が約3,500万円、支出については、約5,200万円であり、その差額約1,700万円が公費負担額となる。続いて、「月影の郷」であるが、こちらは指定管理施設となっている。指定管理施設は、収入と支出を指定管理者で算定して、その差額を指定管理料として市が支払う。したがって市の収入はない形になる。支出に関しては令和2年から令和4年度までの平均で約640万円になる。

【吉野会長】

ただいまの説明について、質問等はあるか。

(なしの声あり)

無ければ、和泉委員から提出のあった審議依頼書の取扱いについて、皆さんのご意見をいただきたい。

【吉野会長】

特に無ければ私から一つ提案させていただきたい。

前回の協議会で「旧安塚中学校の利活用」が課題であることは、委員全員の共通認識として確認してきた。この「旧安塚中学校の利活用」を正式に自主的審議の議題として決定した上で、和泉委員からの提案、特例校設置の要望書などの議論を具体的に進め、地域協議会としての意見をまとめてはどうかと考えた。この提案について、皆さんの意見をいただきたい。

(意見無し)

【吉野会長】

特に無ければ自主的審議事項として、本格的な議論に入っていこうと思う。意見書の提出を前提にした議論を皆さんと交わしていかなければならないと思う。そうした場合、和

泉委員の提案を採用するか、あるいは、他の団体がすでに提出している不登校特例校の誘致をどうするか、または、この二つを融合した形で進めていくか、この三つの範囲の中で、皆さんの意見を整理して、次回に意見を述べていただきたい。

【中村委員】

今の三つの意見にさらに加えたものでもよいか。先回の会議からいろいろ考えてみたが、吉野会長も以前いわれていたと思うが、データセンターの誘致なども考えられるのではないか。そのような考え方も排除せず検討できるのであれば賛成である。

【吉野会長】

意見を加えたものでもよい。案としてまとめてきていただければよい。

【和泉委員】

ただ単に、旧安塚中学校を再利用する項目だけなのか、旧安塚中学校を使って安塚をいきいきと活性化させていくのか、入口が分れると違う方向に行ってしまうと思うので、皆さん自分の気持ちに問いかけていただいて検討していただきたい。

【吉野会長】

旧安塚中学校の再活用と地域振興をどうするか、この視点で考えて次回までに意見をまとめてきていただきたい。

【池田康雄委員】

不登校特例校の設置を願う誘致の会が出している要望書について、これには、やすづか学園の移転は含まれていないようだ。やすづか学園の利用者は増えている。やすづか学園の移転についてはどう考えるか。

【吉野会長】

それも一つの案だと思う。今市では、学びの多様化学校の設置について検討されている。3回ほど会議が開催されているようだが非公開の会議であり、内容はわからないが、統合で空いた校舎を利用する方向のようだ。やすづか学園は社会福祉法人で運営されており、文科省の学校とは別物である。制度的にどうしたらよいか難しい問題である。もし、学びの多様化学校が誘致できなければ、やすづか学園が利用することも可能だと思う。やすづか学園の利用者も30数名いるということなので、安塚中学校の時と同じくらい規模になる。やすづか学園はノウハウも持っておられるので、きちんと運営できるのではないか。具合的に、有志の会の皆さんや、学園の先生方と意見交換もしていない。まだその段階まで至っていないのでそのようなことも視野に入れながら、これからの会議を進めていきた

い。

【秋山委員】

やすづか学園の移転の話が出ていたが、移転は、旧安塚中学校の活用になるが、今まで活用していた施設を活用しなくなることになる。今まで菱里に活性化をもたらしていたものが移動するだけである。

建物もかなり老朽化している。建築的な見地からみてテコ入れしないと、今後10年、20年と使っていく事はできない。そこも考えないと建て直した方が早いという事にもなりかねない。

【吉野会長】

そのようなことも総合的に勘案しなければならないが、今までの議論の中で、やすづか学園への支援は、菱里地区では限界にきているという話もある。やすづか学園とも特に意見交換したわけでは無いが、今後の課題として検討していきたい。

旧菱里小学校の老朽化の進み具合は、事務局の方でわかるか。

【内田班長】

建築年度等調べて連絡したい。

【吉野会長】

次回までに調べていただいて、次回の会議開催案内と一緒に早めに資料をいただきたい。

環境的にも安塚中学校の方が良いのかなと思っているが、やすづか学園とも意見交換してその意見を反映していかなければならない。

【和泉委員】

事務局にお聞きするが、自主的審議事項ではないが、閉校となった高田高校安塚分校は今後どのようにするか、何か情報は入っているか。

【山崎次長】

今の所計画はない。

【和泉委員】

逆にこちらからアクションをかければ、使うことは可能か。

【山崎次長】

県との協議となるが、施設の関係は高田高校が窓口となっているので、今後状況を確認していきたい。

【吉野会長】

他に質問等はあるか。

無ければ、今日は、「旧安塚中学校の利活用について」を自主的審議事項として位置づけることを決定した。今後は、旧安塚中学校の再活用と地域振興をどのようにやっていくか、大きな主題に向かって意見書を提出することを前提に、議論に入りたい。

【内田班長】

確認であるが、自主的審議の議題としては、「旧安塚中学校の利活用について」ということで進めることとして良いか。

【吉野会長】

地域振興もついて回る話なので良い。

次に(1)安塚区地域協議会視察研修について議事を進めていく。視察研修については、一定の目的を持って行かなければならない。自主的審議事項にも関係することから、審議の順番を入れ替えた。事務局から今までの経緯を説明願いたい。

【内田班長】

視察研修については、前期の第5期では、コロナ禍であったことや大浦安3区の合同研修会もあることから実施していなかった。視察を実施するための予算は計上してあるため、視察の実施は可能である。なお、今年度の大浦安3区の合同研修会については、大島区が幹事であり、先日の大島区地域協議会で正式決定され、11月13日(水)午後3時30分から大島就業改善センターにおいて、上越市創造行政研究所の藤山所長を招き、「持続可能なまちづくりについて」ご講演をいただく予定としている。研修会終了後には、大島庄屋の家で意見交換会を予定しており、午後7時30分を終了予定としている。

【吉野会長】

ただいまの説明について質疑等はあるか。

無ければ、私から申し上げるが、視察研修に行く事もあり、講師をお呼びして研修することもありである。まだ先の話なので、次回までに皆さんの方で意見をまとめてきていただきたい。

【中村委員】

今の話は、大浦安の合同研修の話ではなくて、こちらの研修の話か。

【吉野会長】

そのとおりである。

【池田康雄委員】

先回、地域協議会委員に、「地域自治の理想的な姿等に係るアンケート」の依頼があった。私は前期から委員になっているが、内容について、半分か三分の一位しか理解できていない。アンケートには「理想的な姿」などと言われているが、現実には地域協議会も認知されていないし、なりたい人もなかなかいない。アンケートを依頼した担当課の職員に来ていただいて、これをテキストにして、解説していただいたりして研修を行ってはどうか。

【吉野会長】

地域自治推進プロジェクトについては、本年度中に地域協議会委員、各団体等から意見を聞き本年度中に整理をし、来年度制度設計をして再来年度実施というスケジュールになっていたかと思う。2月くらいになれば、アンケートの分析が出来上がっているか。

【内田班長】

総務常任委員会の資料では、大まかな予定ということで、令和6年度は結果の取りまとめを行い、令和7年度に制度設計を行うこととなっているが、2月までに結果がまとまっているか現時点では分からない。

【吉野会長】

そうなると、池田委員の言われたことをやるとすれば、3月の初め位になるであろう。

今回新しい委員さんが8人おられ、大きく様変わりしたので、このようなことについて解説をいただくのは、勉強になるかもしれない。皆さんアンケートの回答は大変だったか。

【山岸委員】

大変だった。

【横尾委員】

何を聞かれているか解らない。

【新保副会長】

経験してきた人に対して聞いているので、経験していない人には解らない。

【吉野会長】

視察研修に行くか、地域政策課をお呼びして、色んなことを勉強するか、次回決めたいと思う。

【和泉委員】

視察研修をする場合の提案について、これは、自主的審議事項に基づいて研修先を選んだほうが良いか。

【吉野会長】

今回、審議の順序を入れ替えて、「自主的審議事項について」を先に審議し、「安塚区地域協議会視察研修について」を後に回した。それは、視察研修を行うとした際、目的を持っていく事がベストだと思っただけの事である。今回、「旧安塚中学校の活用について」を自主的審議事項として位置づけたのだから、それに関連した視察先にしたい。

【和泉委員】

承知した。

【吉野会長】

次に次第の3その他の(1)ファシリテーション研修、正副会長会議について、私が出席しましたので内容を説明する。ファシリテーション研修で学んだことを要約すると、会議を円滑に進める技法で、発言を促し、多様な意見を瞬時に理解、整理し、重要なポイントを引き出しながら合意形成をサポートすることである。司会者の役割が重要で、力量不足を強く感じた。その後、正副会長会議が開催され、地域自治推進プロジェクトについて説明があった。参加した方に聞いてみると、今回の改選で新人の委員さんが増え、理解できない委員が多いようだ。継続的に進めてきた事業を発展的に説明しているので、初めての委員はわかりづらかったと思うが、そのような方向で地域政策が進んでいるわけなので、我々も心して立ち向かっていかなければならない。プロジェクトは、来年度制度設計がなされると、事実上、変更不可となるので、監視をしながら、制度設計に地域協議会が機能していくような提案をしていかなければならないと思いながら聞いていた。このことについて質疑はあるか。

【中村委員】

今回正副会長がファシリテーション研修を受けたわけだが、最初に全委員が集まった時にこのような研修も今後地域協議会でやっていくような話があったかと思う。今回メンバーも新しい方が増えたので、安塚区の地域協議会でもあったらいいなと思っていた。正副会長だけでなくここでやるような話はないか。

【内田班長】

今回、正副会長の研修を実施したが、今のところ、全委員での研修の計画はない。

【中村委員】

希望として、会長副会長だけが研修してわかっても、会議をうまく進めるには、全員がわかっていた方が良く思う。

【吉野会長】

皆さんのお手元に、地域協議会委員の手引きが配られている。その中に会議の進め方が載っている。内容的には似たものであったが、どちらかというとも会議を進行する人を対象にした研修であった。

【新保副会長】

今回の研修は正副会長が対象だったが、皆さんが研修を望まれるようであれば、講師先生をお願いして研修を検討してはどうか。

【内田班長】

委員さんの方から議論を深めるための研修を実施してほしいとの意見があったので、地域政策課に報告しておく。

【吉野会長】

以上で、議題は終了となるが、事務局から連絡事項はあるか。

【内田班長】

希望された方に名刺をお配りした。今後委員として活動する際、使用していただきたい。また、前回欠席された方に、ファイルをお配りしたので、活用いただきたい。

続いて3点ほどお願いしたい。まず、「地域協議会だより」の原案をお配りした。空きスペースについては、イラストや写真等を配置したい。原案は、皆さんからいただいた原稿を基に作成している。内容について、修正等があれば事務局まで連絡いただきたい。

次に、地域自治推進プロジェクトについてである。今回のアンケートについては、現委員と前5期の委員をお願いしている。集計結果については、15人から回答があった。ヒアリングは対象9団体のうち、8団体に実施済みであり、残り1団体については、来週中に実施予定である。結果を集計して地域政策課に報告する予定である。

次に、イベントの報告である。8月24日（土）に、キューピットバレイスキー場において、「山のうえ真夏の雪まつり2024」が開催され、区内外から約1,200人の方が来場された。

【吉野委員】

次に次回の開催日を確認する。通常であれば、9月24日（火）であるが、ご都合はいかがか。

（全員了承）

それでは、次回の地域協議会は、9月24日（火）午後6時30分から開催する。

以上で、第4回安塚区地域協議会を閉会いたします。

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。